



R8 西栗倉小学校だより

No. 5

令和8年 8月28日 (金)

クーラーのエネルギー消費量が最も高いのはいつでしょう？

それは、まさに初期の段階です。クーラーは、スイッチを入れてから冷たい風が出るまでの間とされています。

心理学で、学習曲線と呼ばれるグラフがあります。縦軸が成果や熟達度を、横軸が学習や努力の量を表します。普通、我々は無意識のうちに、学習や練習量の量が増えれば成果も上がると考えがちです。

しかし、実際のグラフ(右下:学習曲線のイメージをAIで作成したもの)を見ると、人間の成長は、比例するのではなく、階段のようなものであることが分かります。つまり、成果がグンと上がる時と、上がらないときが交互に表れるのです。

最も厄介なことは、活動の初期の段階では、なかなか成果が上がらないことです。そういうとき、我々は、「できない」「つまらない」「いやだ」「どうせ無理」といったネガティブな言葉を発しがちになります。そして、努力を続けることを止めてしまうことがあります。

令和8年度がスタートして、いろいろなことを頑張ってきた児童ですが、活動の初期段階では、くじけそうになったことも多くあったことでしょう。新しい学校生活、学習、人間関係など、様々なことで努力が無意味に思えたこともあったかもしれません。しかし、そこでくじけることなく、粘り強く努力をしてきたからこそ、ここまでの成長があったのだと思います。

ただし、今は夏休み明けで、一時の停滞期に入っているとも考えられます。この停滞期を短期間で終わらせ、また、学習曲線が上向いていくことを期待します。そのためには、規則正しい生活を取り戻すことです。また、1学期の学習や生活におけるルールや決まりを思い出すことです。それから、仲間との人間関係を再度、紡ぎ合うことです。こういった当たり前と思えることをリセットした気持ちで行っていくことで、停滞期から早く抜け出すことができると考えます。

ここで矛盾することを言うかもしれませんが、この時期を無理に焦ってやってはいけません。現在の児童の立ち位置を認識し、必要なことを丁寧に思い出させるようにしていくことが大切です。そもそもが停滞期なのですから、無理な指導が逆効果になることもあるので気を付けたいところです。

さて、2学期も、わがごとプロジェクト2.0を進めて参ります。まずは、運動会からのスタートになります。この行事をこなす過程において、いろいろな問題が起こると思いますが、それを他人事とせず、「わがごと」として捉え、粘り強く解決する中で、自身の力を高めていってほしいと願っています。保護者の皆様、地域の皆様、ご協力をよろしくお願い致します。

学習曲線(努力曲線):理想 vs 実際

